

「取組状況フォローアップ様式」について

令和4年度 第2回 水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会及び令和4年度 信濃川水系（信濃川下流）流域治水協議会（令和5年3月同時開催）において、運営方法等が見直されたことに伴い、今後の両協議会の取組状況フォローアップ様式について、下記の通り、両協議会で共通の「取組状況フォローアップ様式」へと見直しを図る検討を行いました。

1. 改正点

- ・両協議会の会員は同一であることを踏まえ、会員の負担軽減の観点からも、両協議会で共通の「取組状況フォローアップ様式」（資料3-2参照）を用いたフォローアップを行う。
- ・両協議会の取組について、内容が重複、類似している項目は統合（資料3-4を参照）。
- ・各取組の進捗状況について、文章で記載する従来の方法から、記号（■：実施完了、△：検討中など）で示す簡易的な方法に変更。

2. 取組状況の記入方法

「資料3-4」の対比表で両協議会における各取組の対比状況を確認しつつ、資料3-2の取組状況フォローアップ様式に、各取組に該当する取組の進捗状況を記号※で記入。

※記号の意味

取組の進捗	—	対象なし	： 取組について、対象とする施設等がない場合
	△	検討中	： 取組の実施について、検討中である場合
	○	実施予定	： 取組を実施する予定である場合
	●	実施済み(継続)	： 取組を実施した実績があり、今後も取組を継続する場合
	■	実施完了	： 取組の実施が完了した場合

なお、図-1の例のように、複数の取組で進捗状況が異なる場合、基本的に取組の進捗が一番進んでいるものを記載すること。ただし、「■：実施完了」に加えて「△：検討中」、「○：実施予定」、「●：実施済み（継続）」の取組がある場合、「△：検討中」、「○：実施予定」、「●：実施済み（継続）」のなかから進捗が一番進んでいるものを記載する。

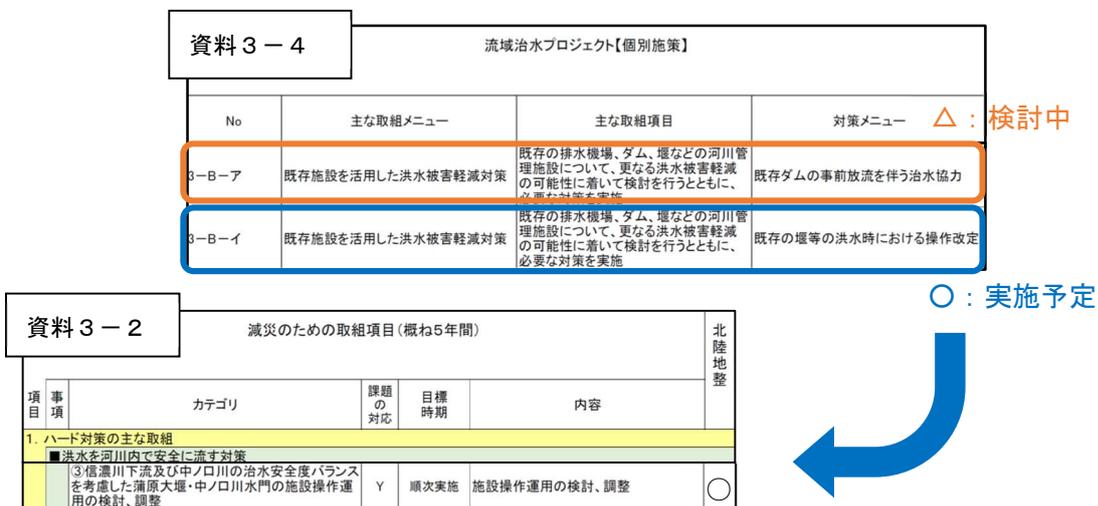


図-1 複数の取組で進捗状況が異なる場合の記入方法(1)

資料 3 - 4		流域治水プロジェクト【個別施策】		
No	主な取組メニュー	主な取組項目	対策メニュー	
12-F-A	防災教育や防災知識の普及に関する取組	学校における避難確保計画の作成と避難訓練の推進	避難確保計画の策定と避難訓練の実施	■ : 実施完了
13-B-A	要配慮者施設の避難に関する取組の推進	避難確保計画の作成と訓練の推進	施設への指導、支援	△ : 検討中
13-C-A	要配慮者施設の避難に関する取組の推進	避難確保計画の作成につながる講習会の開催	講習会の実施	● : 実施済み(継続)

資料 3 - 2		減災のための取組項目(概ね5年間)				北陸地整
項目	事項	カテゴリ	課題の対応	目標時期	内容	
2. ソフト対策の主な取組 ② 氾濫被害の軽減や避難時間確保のための水防や流域対策の取組						
■ 要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組						
	① 要配慮者利用施設及び避難確保計画の作成に向けた支援を実施		K	順次実施	避難計画策定の推進 避難確保計画作成状況 要配慮者利用施設における避難訓練の支援	●

図-1 複数の取組で進捗状況が異なる場合の記入方法(2)